

島の学び舎「とんぼ荘」リノベプロジェクト始動！

福岡県宗像市 × 株式会社大風（代表取締役 吉田啓助）



寄附目標額 6,000,000円
寄附受付期間 R5.8.25～R5.10.25

■概要

民宿「幸栄荘」を島の学び舎「とんぼ荘」にリノベーションし、宿泊する企業や個人が、宗像大島の島内文化や産業と、また個人同士の交流から様々なものを得て、考え、新しいものが生まれるきっかけになる場所として運営していきます。

■異業種・異文化交流拠点「とんぼ荘」

企業や個人の成長やイノベーションの機会、そして地域課題を解く鍵や地方創生の種は、産業や業界の「間」にあると考えています。1,500年以上続く世界遺産の宗像大島には、農業・漁業・観光といったあらゆる産業と生活が、宗像には寛容さと企業や個人の受け入れ体制があります。その地域風土と福岡都市圏の立地を活かし、世界遺産の離島活性化と、企業や個人の成長機会の双方を繋げるプロジェクトが島の学び舎「とんぼ荘」です。



■社会課題解決と企業のイノベーションの両立

宗像大島は基幹産業の漁業の衰退から人口減少、空き家増加が発生し、島内の経済力が減るので若い人が出ていくという悪循環が長年回っています。また、企業においても経済産業省の未来人材ビジョンでも生産性の向上やイノベーションが求められているように、従来と異なるアプローチが必要になっています。これらの課題は、社会変化に対して対応できていない地域や企業があることを表しており、社会全体の課題と認識しています。

一方、私自身の宗像における公民連携のまちづくり事業の経験から、地域特性を活かす形で、地域と企業それぞれの課題解決を分けずに繋げて取り組むことによるイノベーションの促進があると確信しました。

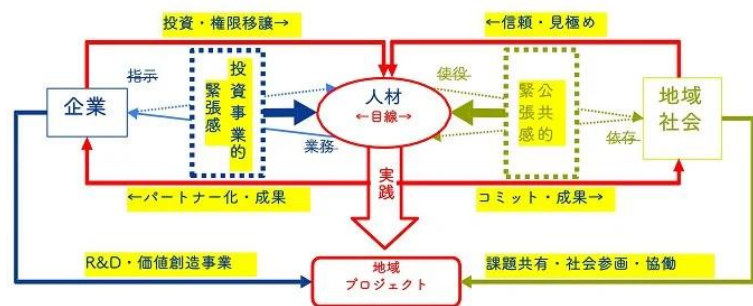
■人や企業が繋がる事で

成長機会が生まれる

本事業をきっかけに、地域理解を持った外の人々の力によって、宗像大島や宗像の強みや個性を活かした事業やまちづくりの取り組みが地域と連携する形が生まれるので、自発的・自律的な持続可能な地域になる第一歩となります。

とんぼ荘は公民連携事業をキーワードに地域と企業と個人が交流し、仕事や事業を創るきっかけが生まれます。それにより、それぞれに自発的な活動が生まれ、またその活動が他と連携しながら業界・業種を超えて繋がる事で、より大きな範囲に影響力を持つ力になっていきます。

地域社会と企業の双方向の人材育成によるイノベーションモデルの概念図



■とんぼ荘へのご支援をお願いします！

常に強さを求められ、弱みを見せる事がしづらい社会で、宗像大島は人の弱さを受け入れ、タフに生き抜く知恵や工夫に溢れている貴重な場所です。しかし、そんな宗像大島も社会の変化の中で、様々な課題を抱え、島の人だけでは解決するのが難しい状況になっています。

私たちは、全てが社会変化の渦に巻き込まれ変わってしまうのではなく、外の人々の関わりによってそれらが残り、残った素晴らしいモノによって、外の人が変わるきっかけとなる事ができるし、そういった場所を作りたいと思っています。どうぞ宜しくお願いします。

事業スケジュール

R5.7～12 リノベーション
R5.8～12 プログラム開発
R6.1 とんぼ荘オープン

寄附金の使い道

・内装・建具・デッキ施工費2,500,000円
・デザイン・施工管理費等500,000円
※寄附金の2分の1は、ふるさと寄附に係る諸経費（手数料・返礼品等）に充当します。

大きい！美味しい！ブルーベリー摘み取り園

福岡県宗像市 × 高榎 博幸「えのさんのブルーベリー園」



寄附目標額 2,393,000円
寄附受付期間 R5.8.25～R5.10.25

■概要

「えのさんのブルーベリー園」では、大型品種の中から厳選した約20品種・300本のブルーベリーを栽培しています。当園のブルーベリーは、驚くほど果実が大きく、ジュースで、甘みと酸味のバランスが良いのが特徴です。

そこで、園を整備してお客様が安全・快適に摘み取り体験ができるよう園を整備したいと思っています。

■「えのさんのブルーベリー園」こだわりの栽培

当園では、大型品種を中心に20種類、300本のブルーベリーを栽培しています。

20年ほど前から地植えでのブルーベリー栽培を始めました。最初は苗を10本購入し、試行錯誤を繰り返しながら、甘い実をつける木だけを増やしてきました。また、酸性の土壌を好むブルーベリーのために、土の酸度を測りながら10年かけて土づくりをしてきました。300本のうち100本はポット栽培ですが、200本は地植えで栽培しています。20年の栽培経験をもとにブルーベリーの果実の大きさと食味を追求し、栽培方法にこだわりながら1本1本に丁寧に手をかけて、大きくて美味しいブルーベリーを栽培しています。

■摘み取り体験に来ていただけるように

ぜひ当園へブルーベリーの摘み取り体験に来ていただきたいのですが、大半を地植えで栽培しているため足元が悪く、また、休憩ができる日陰などありません。

そこで、お客様が安全・快適に摘み取り体験ができるよう、通路に木材チップを敷いて靴が汚れないよう整備、日除けを設置して日影を確保、摘み取り園とわかるようなのぼりや園名板を設置したいと考えています。



■宗像の賑わいづくりのきっかけになれば

当園はそれほど大きな規模ではありませんが、宗像市に遊びに来ていただくきっかけとなればと思っています。また、宗像市に当園よりもっと大きな摘み取り園や観光農園などが宗像市に育つ、その礎になりたいと思っています。

宗像市がもっとももっと賑やかになることを願っています。宗像市の賑わいづくりの一助となればと考えていますので、ご協力いただければ幸いです。

事業スケジュール

R5.12中旬～R6.1中旬 通路木材チップ敷設
R6.1中旬～R6.2中旬 駐車場砕石敷、排水側溝設置
R6.3 日除け・のぼり旗・園名看板を設置し、開園
R6.5 ブルーベリーの旬に摘み取り体験開始。

寄附金の使い道

・通路木材チップ敷工・駐車場整備 1,000,000円
・日除け設置 50,000円
・園名看板・のぼり旗 150,000円 ほか
※寄附金の2分の1は、ふるさと寄附に係る諸経費（手数料・返礼品等）に充当します。